

# すこやかネット・まつばら

## 教育コミュニティのエンパワメントをめざして

松原市内各中学校区地域教育協議会では、“フェスタ”、“クリーンキャンペーン”、“子育て講座”等を開催しています。

松原市地域教育協議会では、松原市PTA協議会との共催で“防犯教室”、“松原市中学校生徒会交流会”を開催しています。また、“職場体験学習”の支援にも取り組んでいます。

このような、様々な取り組みを通じて、地域の子どもどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前の一致する人間関係」を育む教育コミュニティの推進と共に、学校教育活動への支援・協力を行っています。



第8回松原市中学校生徒会交流会

### 5つのネットワーク

- ① 体験活動のネットワーク
- ② 職場体験学習のネットワーク
- ③ 大人と子どものネットワーク
- ④ ボランティア活動のネットワーク
- ⑤ 子ども同士のネットワーク

### 学校支援地域本部事業

文部科学省「学校支援地域本部事業」委託  
～教育コミュニティづくりの拡大・発展～



## 心のふれあい秋まつり

11月13日(土) 松原中学校グランドにおいて、地域フェスタ「心のふれあい秋まつり」が実施されました。

昨年度は、インフルエンザ流行のために中止せざるをえず、その分、今年度は地域として本当に心待ちにしていました。天気にも恵まれ、ステージ、体験、展示、模擬店などの各コーナーは、たくさんの人で一日中賑わいました。松原中学校区のフェスタのテーマは『歴史と防災』です。そこに、今年度は新しく、松原市建築住宅課やまちづくり推進課からの『耐震』に係る展示や藤井寺保健所・松原市立地域栄養士会からの『食育』に関する展示も参加していただき、子どもからお年寄りまで、たくさんの人が各コーナーを訪れました。また、従来から歴史展示による「地域を知ろう」というコーナーや放水の体験による「地域を守ろう」というコーナーも賑わいました。ステージにも新しくMTBR33が出演し、幼稚園児や保育園児、小学生、中学生、高校生や伝統芸能、ハワイアンとともに、会場をわかせていました。中学生ボランティア70名程が、会場でゴミ拾いや会場図の配布など、一日中頑張っている姿も頼もしくうつりました。地域の人々の笑顔でいっぱいのフェスタでした。



## 中学校区三小学校交流会

毎年2月末頃に、中学校区の三小学校6年生を対象にした交流会を実施しています。松原中学校区では、三つの小学校から生徒が集まってきます。知っている顔より知らない顔の方が多く、中学校入学後には、一年生のクラスは緊張感でいっぱいになります。そこで、4月からの中学校生活が少しでも順調に滑り出せるようにと、地域教育協議会が中心となって企画運営、支援を行っているのが、この交流会です。会場は、松原中学校の体育館や教室を借りて、中学生ボランティアにも参加してもらい、小学生をリードしてもらっています。各小学校のPTAにもお手伝いをお願いしています。大縄跳びやドッジボールなどのゲームを楽しみ、その後は、炊き出しの豚汁をおおいにほおばってもらいます。楽しい交流の中でつながりをつくり、中学校生活が楽しく踏み出せることを願っています。今年度は2月26日(土)に実施しました。



## 「校区の子どもたちのふれあい・・・」

### 5/16 天北フェスタ

地域の子供たちの笑顔を大切にしたい。体験・食のコーナー・交流活動を企画! テントをつなげていろいろな売店が軒を連ねました。たくさんの子供たち、地域の大人が一つになってフェスタを盛り上げました。



### 1/30 天南フェスタ

気温6度、前日よりの寒波。本当に震える寒さの中でしたが、1,500名を超える児童・生徒、地域の方が来られました。会長の開会挨拶から、舞台での発表、模擬店などいろいろな催しを企画しました。



### 7/1・9/4 子ども文化教室



校区の子どもたち、園児も加わり、講師の先生も招き、陶芸教室を行いました! かわいい作品もいっぱいできました

### 7/25 親子ふれあいキャンプ



真夏の晴天のもと、校区の小学生、中学生が集まり、カレー作りなど楽しいキャンプの取り組みを体験しました。

### 11/18・19 労働体験



11月、2日間かけて地域の事業所で労働体験をさせていただきました。この写真は、学校の隣の第8保育所と天美北小学校でお世話になったときのものです。

### 12/11 「子育て講座」



12月に今年も、エンパーメント関西から講師を招き実施しました! ワークショップ形式で「親学習」をしました。「地域の子は地域で育てよう!」

## ヒューマンタウンフェスティバル

～ひとりひとりのやさしさの種 大きく咲かせよう地域と共に～

第15回三中校区「ヒューマンタウンフェスティバル」が10月30日(土)に行われました。三中校区では「いじめ」をなくし、「いのち」を大切にしようという思いをこめて、中央小学校児童会・布忍小学校児童会・松原第三中学校生徒会で「信じ合えるなかまづくり共同宣言」、「5つのアクションプラン」を作成してきました。その思いを地域の思いと重ねてさらに広げていくことをめざして今年のテーマができました。



心配されていた台風の進路もそれ、雨天バージョンではありますが無事開催することができました。地域の太鼓グループ「さざれ石」の演奏で開始、会長あいさつ、三中吹奏楽部の演奏、幼稚園児のダンス、小学生の合同合奏と続きました。その後も舞台では三中人權を大切にする会の「チャング演奏」、小学生による「よさこいソーラン」、そして、地域の方々によるダンスや生バンドがありました。

グラウンドでは食のコーナー、体育館1階では催しのコーナーが開かれ、例年通りの盛り上がりを見せていました。また、中学生がダストバスターズなど様々な場面でボランティアとして活躍していました。



## 子どもたちを大切にしたい地域を

### ■あいさつ運動

自分の子どもだけでなく、たくさんの子どもに「おはよう。今日もがんばりや!」と声をかけることで、今では、子どもたちから「おはようございます。がんばってくるわ。」と声が返ってきて、うれしいという声をたくさんききます。



### ■クリーンキャンペーン

9月4日(土)にクリーンキャンペーンが行われました。700名近い大人、生徒、児童、園児が参加し、一緒に汗を流して校区の様々な場所をきれいにすることができました。

### ■三中校区PTAセーフティネットによる講演会

三中校区の3校2園のPTAが一緒になって1月15日(土)に子育て講演会を開催しました。追手門学院大学心理学部教授の三川俊樹先生をお招きして「子どものほめ方・叱り方」～ほめて伸ばす・叱って育てる～と題してお話いただきました。



## いきいき交流フェスタ

10月31日(日)、四中校区いきいき交流フェスタを開催しました。台風の接近というアクシデントがあり、グラウンドを使わずに校庭と体育館を使って、また予備日での開催ということで参加規模も縮小した中での実施でした。地域交流祭は実施せず、模擬店と体験活動を行いました。悪天候にもか



かわらず多数の参加がありました。例年、四中生がボランティアとして活躍してくれますが、今年もテントの設営やちらしの配布、自転車の整理、ゴミの回収などをスタッフと共にやってくれました。特に、テントの解体の場面は雨が激しくなり、みんなずぶ濡れになっての活動でした。最後に大抽選会を行ってフェスタが締めくくられました。



## いきいき健康ウォーキング

12月12日(土)、いきいき健康ウォーキングを行いました。「ふるさと再発見!!歩いてみよう自分たちの街を」をキャッチフレーズに三回目をむかえました。今年は大塚山古墳や柴垣神社を回りました。各グループ毎に地図を片手に校区を歩



いて行きます。家族や友だち同士での参加が多く、みんな和気藹々で時間が過ぎるのも忘れてウォーキングを楽しみました。ゴール後は全員でビンゴゲームを楽しみました。100人を超える参加があり、みんなで楽しいひとときがすごせました。



## 子育て講演会「夜回り先生」こと 水谷修先生をお招きして



2月26日(土)松原北小学校体育館において、子育て講座として昨年度に続き、水谷先生からお話を聞きました。昨年のお話が感動的で是非もっとたくさんの人に聞いてもらいたいという思いで実施しました。

先生の人との関わりをとおしての貴重な体験から、どんな子どもも優しく大切に育てていくこと、命を大事にすることなど、一人ひとりが考えなければいけないことを丁寧な言葉で熱く語られました。

## 第15回いきいき環境フェスタ

11月21日(日)、暖かいお天気にも恵まれ、いきいき環境フェスタが約2,500名の地域の方々が参加して行われました。中学生約400名(生徒会、ボランティア等)も、地域の人とともに前日の会場設営や当日の会場のゴミ回収や駐輪場での自転車整理、各模擬店での手伝いなどに取り組みました。児童会と生徒会が力を合わせユニセフ募金にも取り組み、地域の皆さんの協力で多くの募金を送ることができました。ユニセフの世界の子どもたちの「命・学び」を守る取り組みとして、チャイ販売の売上げをユニセフに送り、国境なき医師団への募金活動も行いました。フェスタ当日は、スタンプラリーの景品として今年度はマイお箸(割り箸1膳で二酸化炭素18g<sup>2</sup>を削減)を約900セット配付し、環境問題を考え行動していくきっかけにもなりました。地域全体でエコキャップの回収にも取り組み、1年間で段ボール約30箱分を回収することができました。これからも、テーマ「出会い・ふれあい・結びつき」を基調に、地域・家庭・学校が協力し、地域の子どもの育ちをともに見守っていきます。



「景品としてマイお箸に交換」



「生徒会のユニセフ募金活動」



「朝のあいさつ運動」

## 朝のあいさつ運動と校区巡視

今年は、学期始めの挨拶運動と、夏と冬の夜の校区巡視(地域の公園やコンビニ等を巡回して子どもたちへの声かけ)も行いました。



「朝の登校時の校区巡視」

## 親子スポーツ交流(10月16日)

親子スポーツ交流(グラウンドゴルフ大会)に、中学生がボランティアとして参加しました。



「親子スポーツ交流(グラウンドゴルフ大会)」

## 中学校でのとりくみ

### (1) 地域の人からの励ましや評価は生徒にとって大きい!

- ①生徒たちは放課後になると自主的に図書室に集まります。パソコンを使った「学習クラブ=iプリ学習」に取り組みます。そこには六中の先生・学生のサポーター・学校支援ボランティアさんが協力してくれます。ある時、一人の生徒がボランティアさんに「高校無理やねん」と話しました。ボランティアさんはその生徒に「あきらめんとこ」と声をかけ、生徒は「うん」と答えました。この様なやりとりが図書室でありました。ちょっとした場面ですが、先生以外にも応援してくれている人がいることは大きいでしょう。
- ②生徒のボランティアのあつまりである「わごころ」と学校支援ボランティアさんとの交流をしました。その交流の中で生徒から、夜間中学校での出会いや神戸レインボーハウスそして鹿児島修学校旅行での様々な人達の出会いと内容の報告がありました。意見交換では、学校支援ボランティアさんから「平和のこと、ナガサキのことは遠のいていた。刺激になりました」との意見があり。生徒からは「自分たちの取り組みを学校の先生以外の大人に分かってもらえたことがうれしい」という意見が出ました。

### (2) 1万冊に込めた想い - 出会いから信頼へ -

ボランティアさんの力で、図書1万冊のバーコード化が、週1回(6時間)4ヶ月で完了しました。ボランティアさんが、知り合いを誘ってくれたり、時には、学校の先生や生徒達と一緒に作業もしました。

始まりは、保護者から学校へ課題を投げかけ、それを学校が受けとめたことでした。図書の整備、iプリ学習での声かけ、環境美化、そして図書バーコード化へと発展しました。

図書室もまた、学力向上と地域連携の日常の拠点となりつつあります。



## 小学校でのとりくみ

### (1) 小学校でも自主的な放課後学習に!



登録制とし、低学年と高学年を分けて実施しています。

学生ボランティアさんの力も借りて、学習プリントを作成しています。

今後、e-ラーニングの活用も含め、興味関心の持てる効果のある教材プリントの作成が課題です。

### (2) 児童の安全「110番の家」を新たに!

地域を歩いて確認しながら、「110番の家」の地図を作りなおし、児童がわかるようにその地図にピンをたてました。

今後、地区ごとの地図を作製し、新しい看板に変えて、また、その家を増やす活動もします。

## スポーツ交流会

5月22日(土)、約120名の児童・生徒が参加し、「スポーツ交流会」が開催されました。この取り組みは、地域の子どもたちの交流のために3年前から七中のグラウンドで、キックベースボールを楽しんでいます。中学生はそれぞれの小学校のチームのコーチ役になり、さわやかな交流をしています。

本年度は晴天の下、就学前の子どもたちも応援に加わり、中学



生のボランティア、地域協、青少年指導員、PTAなどをはじめ、たくさんの地域の方の協力のもと、スムーズに試合を進めることができました。参加した子どもたちは、めったに利用することがない七中のグラウンドで思いっきり汗をかくことができました。中学生にとっては、小学生のお世話をする「お兄ちゃん」、「お姉ちゃん」として活躍できる場となりました。小学生にとっては、他の小学

校の子どもたちと交流するよい機会となりました。たくさんの方が朝から準備をしてくださり、参加賞のミニタオルと飲み物をもらって無事終了しました。



## いきいきハイク

10月24日(日)、総勢80名の参加で、「いきいきハイク」が行われました。早朝、恵我南小学校に集合し、近鉄に乗車しました。富田林駅から徒歩で山を越え、日本最古のため池である狭山池をめざしました。このコースは青少年指導員のみなさんが今年度、新たに考えられたもので、大阪府立狭山池博物館の見学やクイズも準備されていました。子どもたちは池のまわりで楽しくお弁当を食べました。長距離の歩行ながら、子どもたちは、「まだまだ歩ける」と元気満々でした。見学を終え、博物館を出ようとしたころ、水のカーテンが流れ出し、子どもたちも大喜び。ケガもなく、心配した天候も持ちこたえ、無事に松原に戻ることができました。引率して下さったみなさま、ありがとうございました。

